

6 . 水利用の現状

河川の利用については、開拓農民による農業用水の利用に始まり、農業用水としては、約 2,400ha に及ぶ耕地のかんがいに利用され、水力発電としては、昭和 31 年に建設された岩知志発電所による最大出力 13,500kw 及び平成 8 年に建設された二風谷ダムの二風谷発電所による最大出力 3,000kw、昭和 34 年に建設された右左府発電所による最大出力 25,000kw などの電力供給が行われ、上水道用水としては、日高町、平取町、門別町等に対して供給が行われている。

沙流川水系における利水状況は、かんがい用水が最大約 13.2m³/s、水道用水が 0.07m³/s、発電には岩知志発電所外 3カ所で最大 54.6m³/s、二風谷発電所で最大 35.0m³/s の計 89.6m³/s、等が利用されている。

表6-1 沙流川水系利用現況

平成10年3月31日現在
単位 (m³/s)

区 間	区間区分	河川数	水 道		鉱 工 業		かんがい		その他		合 計		発電			備 考
			件数	最大取水量	件数	最大取水量	件数	最大取水量	件数	最大取水量	件数	最大取水量	件数	取水量		
														最大	常時	
直轄管理区間	指定区間外	1	2	0.062	5	0.2645	3	6.1235	1	0.0047	11	6.4547	1	35.00	10.37	
	指定区間内	2											3	54.60	7.08	
	小 計	3	2	0.062	5	0.2645	3	6.1235	1	0.0047	11	6.4547	4	89.60	17.45	
その他の区間		16	1	0.00943	2	0.02834	100	7.1186	4	0.15604	107	7.31241				
	合 計	19	3	0.07143	7	0.29284	103	13.2421	5	0.16074	118	13.76711				

6-1 平取基準地点における過去 10 年間の流況

表 6-2 基準地点 平取

区分	H.1	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	最小	平均
低水流量	17.32	18.54	16.60	18.16	17.26	15.03	19.15	15.52	16.74	19.24	15.03	17.35
湧水流量	8.25	9.38	9.34	9.24	11.79	6.70	8.65	8.57	9.82	11.66	6.70	9.34
最小流量	4.32	4.88	4.02	2.86	4.45	3.79	3.13	3.04	6.30	9.96	2.86	4.67

6-2 沙流川水系における湧水被害

沙流川水系において、過去に大きな湧水被害の報告はない。

6-3 湧水調整

沙流川水系において、過去に湧水調整は行っていない。